

Access Report

2020年 5月 22日号
アクセス教育情報センター

目次

学校情報	学校情報	教育情報	その他	その他
・麻布中高 ・明法中		・9月入学1 ・9月入学2 ・オンライン授業	・名言・迷言・冥言 ・げた箱の上履き ・英語が話せない	・新型コロナ ・企業に資本支援

学校情報

明法中 WEB学校説明会（2020年5月16日）

1) 校長挨拶 牛来先生

明法中高の教育の柱について・・・どのような生徒を育てるのか
これからの社会で活躍できる人を育成したい。

そのために3つの方針

1. よく学び、学ぶ習慣を身につけ、よいことと悪いことの判断ができ、社会で活躍できる人に。
2. 学校生活を楽しみ気持ちを持ち、学習、部活動に積極的に取り組むとともに、仲間とたくさん語り合い、自分の得意分野を伸ばすために懸命に取り組む人に。
3. 学校行事を通して自分の能力を発揮し、伸びようとする気持ちや探求心を持って、学びを深める人に。

以上の3つに取り組むことにより、これからの社会をたくましく生き、社会で活躍できる人を育成したいと考えています。

そのために、中学では読み、書き、計算について何度も繰り返し学習しながら定着を図り、その上で得意分野を身につけるために3S教育、国際理解教育、海外研修、最期までやり抜くチャレンジ教育としての体験活動を行います。

明法中高で大いに学び、社会に貢献できる人、社会で活躍できる人になりませんか。

2) 明法中の教育について 教頭 早川先生

明法の教育の特色

1. 少人数教育

生徒10名に対して教員1名の割合。

教員と生徒の距離が近く、先生に質問や相談がしやすい。

授業で先生もたくさん質問でき、生徒はたくさん発言する機会がある。双方この学びが深くなっている。

友人同士でお互いに何でも語り合え、楽しい学校生活を送ることができる。

——中3保護者から見た少人数教育——

お父さんも明法の卒業生。

現在、中3は34名で、17名×2クラス。

理科では実験器具が一人一台使え、効率のよい授業ができています。

音楽では一人が一つの楽器を習得し、その成果を文化祭でオーケストラとして発表する。

職員室には相談コーナーがあり、学習等の相談ができる。

子どもを見ていると、少人数なので自分の個性が発揮しやすいのではと感じる。

自分は、高校時代はサッカー部で、顧問の先生とは今でも連絡を取っている。

子どもにも先生とそういう関係を築いてほしいと思っている。

2. 広いキャンパスと充実した施設

キャンパスは東京ドーム1.2倍の広さ。

本校舎とは別に、理科専門棟、音楽棟がある。

運動用の施設として、400mトラックが取れる第1グラウンド、人工芝の第2グラウンド、4面が人工芝のテニスコートがあり、体育館にはトレーニングルーム、柔剣道の道場がある。

講堂は1000名以上が収容できる。

40名が宿泊できる宿泊型学習施設として明法学院ハウスがある。

ノビノビとしたキャンパスで、生徒は学習、行事、部活に思いきり取り組める。

3. キメ細やかな学習サポート

少人数ゆえの丁寧な学習指導が行われている。

中1・中2・・・学習習慣を身につけ、基礎学力を定着させる。

・3点固定: 起きる時間、寝る時間、学習する時間の3点を決める。

毎日のリズムの整った生活ができるようにする。

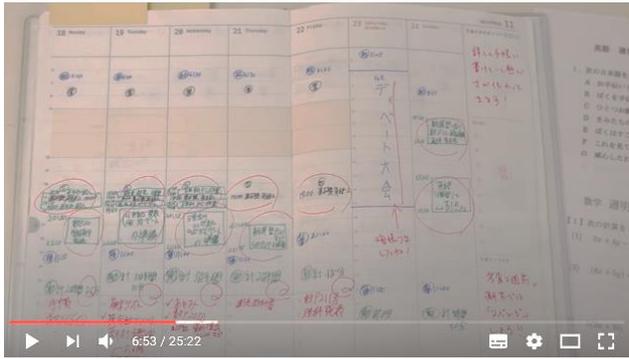
・週末課題と週明けテスト: 1週間の学習のサイクルを作る。

国数英の週末課題を週明けテストで確認。解き直しを。

・定期考査の解き直し: 学習内容をキチンと定着させる。

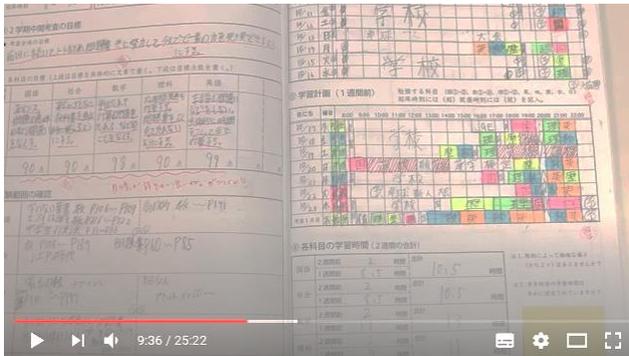
——中学生の学習指導について(國谷先生)——

・生活手帳: 計画と結果を記録。先生がチェックしてコメントを記入。



3点固定の実現と自己管理を目指す。

- ・週明けテスト: 毎週の課題の理解を確認。
- ・朝読書: 本は自由に選ぶことが出来るが、課題図書が出ることもある。
読書ノートを作成して、内容のまとめや感想を記入。
- ・定期考査前後の学習指導



定期考査のための学習計画を2週間前から作成。マイステップに試験範囲や各教科の目標を記入し、バランスよく取り組めるように。

サブノートを授業ノートとは別に作成し、授業の復習内容を書きまとめる。
すぐれたノートを参考ノート集にまとめて紹介する。

- ・長期休暇中の学習指導

学習記録表を作成し、自己管理をしながら学習を進める。

保護者のコメント欄もある。

中3では職業レポートを、進路指導の一環として作成する。身近で働く人から話を聞いて、レポートを作成する。

明法では真に自立した学習者を目指して指導を行っている。

4. 本物に触れる教育

創立以来、本物に触れることを大切にしている。

一流の指導者から教わる楽器や芸術鑑賞教室など、本物に触れることにより得られる学びの深さ、感動を中学時代に経験してほしい。

特にサイエンス教育に力を入れている。

理科の授業は理科専門棟で行う。



実験・観察は二人一組で実施。専門的な顕微鏡も一人一台。

中3では週1時間、サイエンスラボの授業があり、教科の範囲を超えた実験・観察を行う。

サイエンスGEでは、ロボットを使ったプログラミング教育、ディベートなどを通じて、論理的思考力、問題解決力、表現力を養う。

ロボットプログラミングで、日本大会や国際大会に出場した生徒もいる。



NHKEテレの「探求が教育を変える」でもGEサイエンスの授業の様子が取り上げられる。

5. グローバル教育

複数のALTを中心とした少人数英会話授業を長年行っており、読む、聞く、話す、書くの英語4技能に早い段階から取り組んでいる。

10年前から高校でグローバルスタディーズプログラム(GSP)を実施している。

GSPは3ヶ月の海外留学を中心とした国際教育プログラム。

参加者の中からは英検1級、準1級合格者や海外の名門国立大学への進学者した生徒もいる。

SDGsに関連させた21世紀型のあらたな海外研修を設ける。

中3から3つの海外研修プログラムがある。

- ・シアトル・・・IT企業や大学訪問を通じたキャリア教育研修
- ・カンボジア・・・村の小学校での教育ボランティア研修
- ・メルボルン・・・ホームステイをしながら、現地校に通い、フィールドワークも行う語学研修



6. クラブ、同好会

充実した施設を活用して、多くのクラブ・同好会が活動している。

運動系 18

文化系 7

多くの部、同好会が中高一緒に活動。

クラブ、同好会の活動を通して、問題解決能力や協力して取り組む力、リーダーシップ、フォロワーシップが育まれる。また、卒業後も続く仲間との絆ができる。

7. 学校行事

中学での宿泊行事として

中1・・・オリエンテーション合宿

中2・・・フィールドワーク

中3・・・京都・奈良研究旅行

がある。

明法祭(文化祭)、体育祭は生徒の実行委員会が企画・運営する。

3)ドローン映像による学校全体の紹介(省略)

4)明法の進路指導 進路指導部長 相良先生

1. 2020年度の大学合格実績は前年に比べ大きく増加。

早慶上理ICU・・・5名→9名

GMARCH・・・16名→30名

国公立も4名。

増加の理由

- ・入りやすい職員室と職員室の中の個別質問スペースで個別の相談、質問がしやすい・・・これは以前からもそうになっていた。

- ・3年前から受験対策会議を立ち上げ、個々の生徒の成績情報を教員が共有して進路・学習指導を行うようになっている。

- ・昨年から進路アドバイザーを導入する。予備校や他校での進路指導経験者が進路指導アドバイザーに。

生徒への学習計画アドバイス

入試に向けた志望校別ガイダンス

担任・保護者を交えた4者面談の実施
などを行う。

・学校推薦型入試、AO入試(総合型選抜入試)への指導体制作り。

元私大職員を進路アドバイザーに迎え、大学側から見た面接の仕方、志望理由書の書き方の指導を行う。

3年連続で国公立大学の公募推薦に合格者を出す。

今年度はさらに進路指導アドバイザーを増やす。

2. 中学生に対する進路指導

受験を終えた高3生から、中学生へのアドバイスをを行う。

進路を決めるにあたり何を考え、どんな高校時代を過ごしたかを話してもらう。

5)2020年中学入試結果 入試広報部 山田先生

1. 2020年度の入試形態は

・2科4科選択入試

・適性検査型入試 2/1午前

・自分アピール入試 2/3

の3種類。

2. 2科4科入試

合格基準点

	第1回午前(2/1)		第1回午後(2/1)
	2科(200)	4科(320)	2科(200)
進学GRコース	100	160	100
国際理解コース	111	—	111
サイエンスコース	111	204	111
	第2回午後(2/2)		
	2科(200)	4科(320)	
進学GRコース	103	161	
国際理解コース	—	—	
サイエンスコース	128	214	

3コースとも同じ入試問題。

合格者を絞り込む入試ではなく、入学してから大丈夫か(授業についてこられか)どうかを確認する入試。基準点を参考に過去問の勉強をしてください。

2科4科選択では、2科、4科どちらが有利ということはない。自分の受けやすい方で受験を。

国際理解コースの判定には英検4級以上の資格が必要(各入試形態とも)

3. 適性検査型入試

適性検査型入試は導入して3年目。

適性検査型 I・IIそれぞれ100点満点。

4. 自分アピール入試

基礎学力(60点)

作文(30分)・・・最大250字

基礎算数(30分)・・・2科4科入試の算数の大問1、大問2に相当する問題

自己アピール(40点)

これまで継続してがんばってきたこと、ユニークな取り組みについて・・・これからも継続してやっていけるか。

仲間と協力してがんばってきたことについて・・・これからも主体的、積極的に取り組んでもらえるか。

6)教員からのメッセージ

1. 高3学年主任・・・明法祭での生徒の成長について

この学年(55期生)を中1からずっと担当。

中1・・・学年発表:発表の仕方をこちらが丁寧に説明して、発表を行う。

中2・・・映像作成:生徒の方からいろいろなアイデアが出てくる。

中3・・・お化け屋敷:どうしたらお客さんが怖がるかという視点を持って、自分たちで考える。

高1・・・迷路とクイズ:高入生と一緒に作りに上げる。

高2・・・おたく芸:自分たちの案を何とか実現するために活動する。

学年を追う毎に行事参加する中で、自発的に取り組み成長していく様子が感じられる。

部活動は中学サッカー一部の顧問を。中学生は人数がギリギリなので、生徒と一緒に体動かすようにしている。

<https://www.meiho.ed.jp/>
